

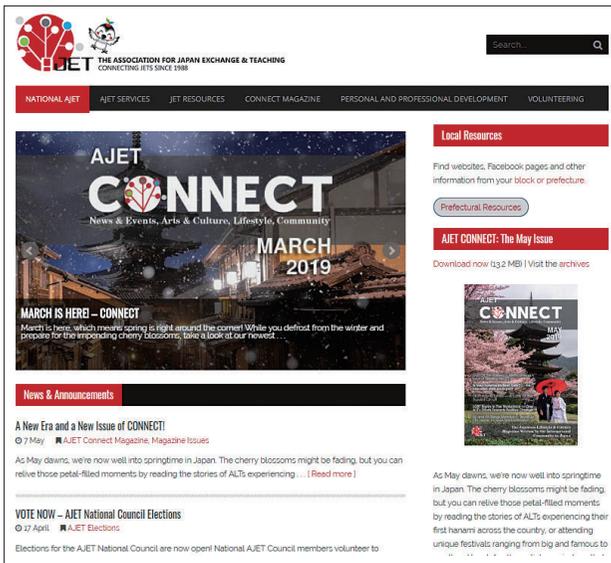


JET プログラム参加者を支援！ ～ AJET 全国役員意見交換会開催～

(一財)自治体国際化協会JETプログラム事業部

AJET とは

AJET (The Association for Japan Exchange and Teaching) とは、国際交流イベントの企画・支援、JET プログラム参加者への情報提供などを通じて、JET プログラムを支援することを目的に、1987年8月に結成された「JET プログラム参加者の会」のことであり、現役 JET プログラム参加者によって構成された、唯一の自主的なサポート団体です。

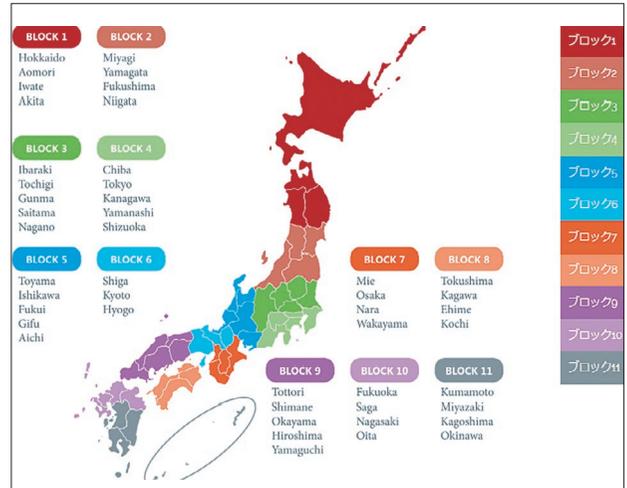


AJET ホームページ

組織構成としては、「全国役員会」と全国を11に分けた単位の「ブロック」と都道府県単位の47の「支部」の3つに分かれています。全国役員会は、関係機関との連絡調整およびJETプログラム参加者のコミュニティの充実を目的とし、支部は、地域レベルでのJETプログラム参加者のためのイベントの実施等を目的として活動しています。



AJET の組織図



AJET 支部 (11 ブロック)

AJET 全国役員会

現役 JET プログラム参加者から選出された役員により構成される役員会であり、前述の目的のほか、JET プログラム参加者のためのさまざまな支援を行っています。JET プログラム参加者から相談を受ける電話サービス「AJET Peer Support Group (PSG)」では、専門のトレーニングを受けたボランティアスタッフが相談を年中無休で受け付けています。

その他に、AJET に協力する企業が提供するサービスの特別割引、ティーム・ティーチング用資料、Special Interest Groups (AJET 内のサークル)、JET プログラム参加者専用の宿泊プログラム「Tatami Timeshare Program」、現役 JET プログラム参加者向け情報誌「AJET Connect Magazine」などを提供しています。

2019 年度 第 1 回 AJET 全国役員意見交換会

AJET 全国役員会は 1988 年以降、毎年 1 回以上 JET プログラムの実施機関である総務省、外務省、文部科学省、クレアと意見交換会を行っており、2019 年度第 1 回 AJET 全国役員意見交換会を 7 月 8 日に開催しました。

AJET 全国役員 (9人)、総務省 (3人)、外務省 (1人)、文部科学省 (2人)、クレア (9人) が出席し、各出席機関が提案した6つの議題 (勤務時間と報酬に関する研究レポート (AJET)、JET プログラム参加者と地域の関わり (総務省)、英語教育実施状況調査結果と ALT の活用について (文部科学省)、JETAA 国際会議について (クレア)、Rugby World Cup 2019 および東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (インターンシップおよびボランティア) について (クレア)、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による JET プログラム参加者の任期延長について (クレア)) などの意見交換を行いました。



2019 年度第 1 回 AJET 全国役員意見交換会の様子



「勤務時間と報酬に関する研究レポート」を説明する AJET 役員

AJET 支部の活動例：Biwa Ball

前述のとおり、AJET 支部は全国各地で、地域レベルでの JET プログラム参加者のためのイベントを実施しています。

ここでは、ブロック 6 (兵庫県、京都府、滋賀県) の活動例「Biwa Ball」を紹介します。「Biwa Ball」とは、琵琶湖で行われるダンスパーティーであり、AJET 支部が実施するイベントのうち、JET プログラム参加者にと

てもよく知られている活動の 1 つです。毎年春から初夏にかけて、琵琶湖で外輪船「ミシガン」を会場に開催し、約 200 人の JET プログラム参加者が参加します。

ドレスコードとして、「カクテルアタイア」(個性を強調したフォーマルな服装) などが指定され、参加者はお互い負けないほどおしゃれな服装で参加します。ネクタイ、アクセサリーやカラフルなドレスは、見るだけでも楽しく、参加者は個性的なファッションセンスを披露しながら、夕方の涼をゆっくり楽しみます。



外輪船「ミシガン」からの眺めを楽しむ参加者

また、参加者はダンスも楽しみます。ミシガン内のバーで心臓に響く音楽を流すと、そこはダンスフロアに早変わりします。混みあいながらも笑顔が溢れるダンスフロアで、皆と一体になってダンスをする参加者もいる一方、デッキや屋上で夕暮れを眺めながら、久々の再会を祝う参加者もいます。



ダンスを楽しむ参加者

AJET 支部は、参加者同士が積極的に交流できるよう、ファッションコンテストも企画しました。「ベストドレッサー」、「オシャレ」、「超ド派手」の 3 つのカードを用意してお互いに投票を行い、2 件の受賞者を決定しました。

1 件は、ある参加者が用意したシルクハットがパーティー中に人気となり、予想外の結果でしたが、次々と



票を獲得しました。

もう1件は、ある若い女性がスパンコールのついたおしゃれなドレスを着用し、手の込んだメイクをし、本人

手作りの素晴らしい貝殻のティアラを付けていました。会場のどこに行っても注目を集めた彼女は、一晩中「海の女王」や「クイーン・ネプチューン」と呼ばれ、多くの票を集めて優勝しました。



「海の女王」あるいは「クイーン・ネプチューン」と呼ばれた優勝者



ファッションコンテストを楽しむ参加者

今後も、AJET 支部は JET プログラム参加者のためのイベントを引き続き企画し、実施する予定です。

私にとって AJET とは

本記事の終わりに、昨年度、AJET 全国役員会の副会長を務めた Subane Abdi 氏の AJET に関するエッセイを紹介します。

「昨年度、私は AJET 全国役員会副会長として、エキサイティングなプロジェクトや課題に取り組み、高い質を保ちながら業務に携わりました。AJET 全国役員会がどれだけ変革の推進力となるか、実感するよい機会となりました。私は AJET が、全国の JET 参加者にとって最も貴重な存在になれると信じています。

日本滞在中の2年目までは、AJET の全ての役割を理解しておらず、次のような質問を自分に問いました。『AJET の主な役割はなんだろう』、『AJET が支持している価値とは』、『AJET が私のためにできることは何だ』。

いずれも答えが分からなかったため、AJET 全国役員

会の選挙の時期になった時、私は自力で見いだすしかないと思い、役員会へ応募し、AJET について知ろうとしました。そして、副会長として1年を終えた今、その答えにたどり着きました。

私にとって AJET は、頼みの綱のような存在です。JET プログラム参加者同士における、JET プログラム参加者のために『変革を起こす声』となる団体。副会長という立場になり、自治体国際化協会および三省（総務省、外務省、文部科学省）と面会し、JET プログラム参加者の日本での労働生活と日常生活の質などについて意見交換ができたのは、私にとって大変光栄でした。

AJET は、設立以来、ボランティアの方々の多大で献身的な働きにより、全国の JET プログラム参加者の声をひとつにすることを追求してきたコミュニティです。AJET のボランティアの方々は、団体のあらゆるレベルで、JET プログラム参加者が満足な生活を送れるように自分の時間を注ぎ込んでいます。行事を円滑に進められるよう努力する各県代表およびブロック代表から、JET プログラム参加者に興味深い情報等を届ける『Connect Magazine』を発行する編集係、さらには、非常に勤勉で献身的なチームである AJET 全国役員会がいます。AJET 全国役員会が作成するポリシーと調査には、彼らの『肯定的な変化をもたらしたい』という強い意思が反映されています。

最後に、AJET とは、居心地の良い場所のようなコミュニティであり、JET プログラム参加者が日本で有意義な時間を過ごせるよう、努力しています。役員になる前は、AJET の役割についてよく分かりませんでしたが、今だからこう言えます。『もし AJET が存在しなかったら、JET コミュニティは、今のようにつながりが強くなっていなかった』と。』



AJET 全国役員会副会長として挨拶をする Subane Abdi 氏